

# ニューズレター No.54

日本リメディアル教育学会(JADE)

<http://www.jade-web.org/> 発行人 穂屋下 茂

2012(平成 24)年 3 月 26 日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.54 をお届けいたします。今回は、

- 1)理事会開催報告
- 2)本会会誌の位置づけ
- 3)関東・甲信支部会 第 1 回研究大会
- 4)第 4 回関西支部会支部大会
- 5)北海道支部会研究会

についてお知らせいたします。

## 理事会開催報告

理事会(第 5 回)は、会則第 28 条第 1 項に基づき、決議の省略の方法(いわゆるメール理事会)で実施され、1 月 27 日付けで、第 8 回全国大会実行委員長交代が、可決とみなされました。

3 月 19 日に、大阪体育大学中央棟 7 階大会議室において、理事会(第 6 回)が開催されました。議事の概要を以下に示します。

### 【審議・協議事項】

1. 著作権規程及び役員候補者選出規程の一部改正について  
著作権規程の改正について、事務局より説明があり、審議の結果、一部修正のうえ、可決されました。  
役員候補者選出規程の改正について、事務局より説明があり、審議の結果、原案どおり可決されました。
2. 『大学における学習支援への挑戦』の出版について  
穂屋下会長から、2011 年度の事業計画に基づき発行に向けた作業が実施されている出版物について、その概要が定まってきたので、本会の出版事業としての発行を正式に承認することが、今回提案されました。  
審議の都合で、報告事項 4 を議事に先行して、出版物の概要が報告されました。出版物は日本リメディアル教育学会編とし、書名は『大学における学習支援への挑戦』、構成は「1.アンケート」、「2.プレースメントテスト」、「3.入学前教育」、「4.初年次・導入教育」、「5.リメディアル教育」、「6.学習支援センター」であること等が説明され、審議の結果、提案どおり承認されました。
3. 2012(平成 24)年度事業計画及び収支予算について  
2012 年度の事業計画と収支予算について、事務局より説明があり、審議の結果、承認されました。
4. 事務局の異動について  
穂屋下会長から、寺田事務局長が本年 8 月より不在となるため、竹内・米満の両事務局長補佐で事務を代行し、事務局を運営することが提案され、協議の結果、了承

されました。

### 5. その他

審議・協議に先立って第 1 回～第 5 回の議事録が確認された際、議事録を学会ホームページ上で公開することが、協議の結果、了承されました。

学会の内外に活動を紹介する文書「今後の日本リメディアル教育学会の活動について(案)」の修正案が提案され、協議の結果、若干の修正のうえ、早急に公表することが了承されました。

### 【報告事項】

#### 1. 業務執行の状況

穂屋下会長から職務の執行状況の報告として、9 月の理事会(第 4 回)以降の学会の活動の概要に関する説明がありました。

#### 2. 理事会(第 5 回)(決議の省略の方法による)の結果

第 5 回の議事録が確認された際の説明をもって、本報告としました。

#### 3. 第 8 回全国大会進行状況

全国大会世話人の植松副会長から、現状の準備進捗状況について報告されました。

#### 4. 『大学における学習支援への挑戦』の進行状況

審議・協議事項 2 の際に報告されました。

#### 5. CiNii 掲載の既刊学会誌の写真マスキング箇所

既刊学会誌に掲載された写真のうち、CiNii を通じて Web 上で公開することに問題の生じる可能性のあるものを確認し、マスキング処理をすることとしました。なお、今後掲載されるものについては、投稿された段階で確認し、著者に処理を求めることとしました。

#### 6. その他

北海道支部会研究会の開催案内がありました。

今年度は、支部会の大会が 3 月に 3 件集中したことについて、これが恒例となるのか質問があり、穂屋下会長から次年度からどのようにすべきか検討を要するという回答がありました。

## 本会会誌は「紀要」ではありません

紀要は、教育機関や各種の研究所・博物館などが定期的に発行する学術雑誌のことであります。大学の場合、各学部で紀要を発行することもあります。その内容は、論文などのほか、その大学教職員の年間業績一覧や学部生の卒業研究テーマや大学院生等の研究テーマ一覧などです。

紀要に掲載される記事の審査は、簡素で形式的なものであったり、それ自体が行われない場合などさまざまあります。したがって、掲載される記事の学術水準はまちまちであることが一般的です。そのため、紀要に掲載された記事を研究上の業績として認めない組織や、認めたとしてもポイントが低く評価されたり、紀要自体を発行しない組織も

あります。

本会が発行する会誌では、内容についても、形式(書式)についても、かなり厳しい態勢で実施しており、上述のような「紀要」と称される学術誌とは、一線を画しております。

どうか、本会会誌を「紀要」と表現したり、それに掲載された記事を「紀要」のカテゴリーで記述することは(例えば、大学や文部科学省への報告書中で)、ぜひともお止めください。

編集委員長 金田 徹

## 関東・甲信支部会第1回研究大会

日本リメディアル教育学会関東甲信支部会第1回研究大会は、3月10日に早稲田大学で開催されました。当日は、多数の参加者が出席し、ニューズレターNo.53に掲載したプログラムのうち、都合により1件の研究発表がキャンセルされましたが、盛会のうちに閉幕いたしました。

あわせて開催された第1回総会の記録を以下に紹介いたします。

日本リメディアル教育学会 関東甲信支部会 第1回総会  
開催:2012年3月10日

会場:早稲田大学11号館4階小会議室1

司会・記録:遠藤雪枝(清泉女子大学)

1. 議長選出 久村研(田園調布学園大学)
2. 穂屋下茂会長からのあいさつ

「第8回全国大会を、8月27日～29日、立命館大にて開催する。できれば、職員の方にも参加してもらえような大会にしたい。第9回全国大会は、関東で引き受けてもらいたい」

3. 関東甲信支部長からのあいさつ

- 1) 役員紹介  
支部長:清田洋一(明星大学)、副支部長:遠藤雪枝、  
会計:城一道子(江戸川大学)
- 2) 運営方針案:関東甲信支部大会を、今後も継続していこう。
- 3) 予算:関東甲信支部第1回研究大会の経費として、3万円を事務局から充当してもらった。

## 第4回関西支部会支部大会

日本リメディアル教育学会第4回関西支部会支部大会は、以下のプログラムで、3月19日に大阪体育大学で開催されました。

13:00 開会 司会:東郷多津(京都ノートルダム女大)

会長挨拶 穂屋下茂(佐賀大)

開催校挨拶 長尾佳代子(大阪体大)

関西支部会支部長挨拶 村上裕美(関西外国語大短大)

13:20 シンポジウム 司会:村上裕美(関西外国語大短大)

「教材の変移からみる教育の可能性と必要性の考察」

シンポジスト(50音順):

エヌ・ティ・エス、旺文社、日本公文教育研究会、ニッセイコム  
14:30 休憩

14:45 研究発表(発表10分、質疑応答5分)

Room1 司会:堤裕之(大阪体育大)

- 1) 堤裕之(大阪体育大):授業内レポートとポートフォリオについての一考察とその実際
- 2) 福崎優太他(長浜バイオ大):長浜バイオ大学の「バイオ学習ワンダーランド」双方向性のE-learningシステムの現状の概略
- 3) 穂屋下茂他(佐賀大):オンライン学習教材の共有環境の構築による教育改善の研究
- 4) 藤井俊子他(佐賀大):初年次キャリア教育実施に向けたICT活用の試み

Room2 司会:村上裕美(関西外国語大短大)

- 1) 中村紘子(武庫川女大):学生主導英語授業の考察—音楽を利用したアクティビティの実践
- 2) 田中美和子他(京都ノートルダム女大):英作文クラスのための文法力をあげる協調自律的教材の研究2
- 3) 村上裕美(関西外国語大短大):ビジネス英語教材を活用した社会が求める英語力を養う指導の試み
- 4) 酒井志延(千葉商科大):英語のリメディアル教育のためのコミュニケーション指導を開発したい

15:45 休憩

16:00 研究発表(発表10分、質疑応答5分)

Room1 司会:工藤俊郎(大阪体育大)

- 1) 児玉英明(京都産業大):リメディアル教育は大学教育か?—学士課程答申・認証評価の基準を参考に—
- 2) 古賀崇朗他(佐賀大):コミュニケーション能力を育む身体表現入門
- 3) 長尾佳代子(大阪体育大):単位認定においてどこまで学生の個別条件を考慮し得るか—視覚障害学生のケースを通じて気付いた問題点—
- 4) 田中周一他(昭和大学):医系学生のコミュニケーション能力とその育成について—富士吉田教育部におけるコミュニケーション能力育成講座を例に—

Room2 司会:畔津憲司(北九州市立大)

- 1) 田中千晶(聖カタリナ女高):四コマ漫画を使用した日本語表現教育
- 2) 村上昌孝(大阪体育大):大阪体育大学における「日本語技法」授業の沿革
- 3) 鷲北貴史(LEC 大):やまちゃんが分数の概念を理解した瞬間—螺旋状 Scuff Folding の実践報告—
- 4) 畔津憲司(北九州市立大)他:講義への関心、良い成績獲得意欲、学生間情報ネットワークが期末試験成績に与える影響についての分析

Room3 司会:中村健(大阪体育大)

- 1) 米満潔他(佐賀大学):入学前・入学後の補講教育等の実施科目について

- 2)大城真樹他(名桜大):学生チューター参加型の大学学習センター運営の取り組み(名桜大学の事例)
- 3)中村健他(大阪体育大):附属高校からの内部進学生に対する入学前指導の試み
- 17:00 閉会および関西支部総会 総合司会:東郷多津(京都ノートルダム女大)
- 18:00 情報交換会 司会:工藤俊郎(大阪体育大)

## 北海道支部会研究会

ニューズレターNo.52で紹介した、日本リメディアル教育学会北海道支部会研究会は、以下のプログラムで、3月22日に北星学園大学で開催されました。

- 13:00 開会の挨拶
- 13:10 発表会
1. 小杉直美(北翔大) 導入教育への取り組み:北翔大学の事例
  2. 高梨香織(北海道薬科大) 本学の薬学教育センターの業務内容について
  3. 宮崎靖士(北星学園大) 大学初年次学生にむけた文章指導の方法的工夫に関して:レポート作成指導への「ロジカル・シンキング」導入の具体例
  4. 細川裕司(北海道工業大) 他 工業学生に学習の興味関心を引き起こす工夫:教師側の心得と授業内容での工夫
  5. 石田雪也(千歳科学技術大) 情報科目での高大連携校向け科目等履修講座の実践
  6. 中嶋輝明(北星学園大学) 遠隔授業においていかに“書く”ことを取り入れるか
  7. 小松川浩(千歳科学技術大) ICT を活用した初年次系のキャリア形成プログラム

8. 大河内佳浩(千歳科学技術大) 他 e ラーニングを利用した入学前教育と初年次教育への接続
- 17:10 支部ミーティング
- 17:50 閉会
- 18:30 情報交換会

## 会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

## 原稿執筆要項などの改変

原稿表紙、割付見本(執筆要項)などの投稿に必要なファイルが、2011年9月13日から変更されております。さらに、掲載に至らせる原稿内容を作成するための一助として、原稿執筆ガイドラインを用意いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

詳しくは、<http://www.jade-web.org/jade/journal/journal.html>をご覧ください。

【文責】寺田 貢